

研修参加報告書

令和 6年 1月15日

会 派 名 江南クラブ
会派代表者 稲山 明敏

参加者：尾関 昭、藤岡 和俊

研修参加の結果について、次のとおり報告します。

年 月 日	令和6年1月9日（火）～10日（水）
研修時間	13:30～16:45 9:00～12:15
研修場所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）
研修内容	令和5年度第3回市町村議会議員特別セミナー 講師：吉川 浩民 氏 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局長 木澤 真澄 氏 株式会社トラストバンク取締役兼パブリック事業部長 篠原 靖 氏 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部准教授 長崎 真友子 氏 株式会社 Cheering（チアリング）代表取締役

研修参加報告書

年月日	令和6年1月9日（火）～10日（水）
研修時間	13:30～16:45 9:00～12:15
研修場所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）
研修内容	令和5年度第3回市町村議会議員特別セミナー 講師：吉川 浩民 氏 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局長 木澤 真澄 氏 株式会社トラストバンク取締役兼パブリテック事業部長 篠原 靖 氏 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部准教授 長崎 真友子 氏 株式会社 Cheering（チアリング）代表取締役
■目的	市町村の行財政をめぐる重要課題や議会を取り巻く課題と対応の方向、社会構造の変化を見据えての我が国の政治・経済の動向等について、各分野で活躍されている講師による講演を聴く。
■内容	1日目 13:30～15:00 デジタル田園都市国家構想の実現に向けて ～「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指して～ 講師：吉川 浩民 氏 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局長 ODigi 田（デジでん）は地方創生そのものと言って良い。デジタルは手段であり、地方こそデジタルで解決しなければならないことがたくさんある。 コロナ禍でテレワークが広まり、地方でも東京と同じ仕事ができ、同じ給与がもらえるようになった。そのため地方への移住を支援している。 《移住支援事業》 https://www.chisou.go.jp/sousei/ijyu_shienkin.html サテライトオフィス等の整備に取り組む地方公共団体が増え（R5.6時点で747団体）、企業版ふるさと納税の寄付実績は大きく増加（R4年度341億円、8,390件）している。

書かない窓口、行かない窓口を実現し、オンライン申請を可能にする。
デジタル人材地域還流戦略パッケージや地方創生人材支援制度もある。

《デジタル田園都市国家構想》

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/index.html>

群馬県前橋市のマイナンバーカードを活用した高齢者等への移動支援は江南市にも提案していきたい。

＜マイナンバーカードを活用した高齢者等への移動支援／総務省＞

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/jir_ei/2019_009.html

15:15～16:45

デジタルで新しい行政のカタチを実現

ー大切なアナログのための適切なデジタルー

講師：木澤 真澄 氏

株式会社トラストバンク取締役兼パブリテック事業部長

○LoGo チャット（自治体向けビジネスチャット）は 1,361 自治体（全国の 4 分の 3）が導入、LoGo フォーム（ノーコード電子申請システム）は 626 自治体が導入している。

《自治体専用ビジネスチャット LoGo チャット》

https://publitech.fun/service_logochat

LoGo チャット導入により職員 1 人あたり平均年間 98 時間の業務削減効果があるというデータが得られた。

全国の自治体職員 90 万人に換算すると約 3,100 億円に相当するという試算ができる。

総合行政ネットワーク LGWAN 〈エルジーワン〉で使えるのが凄い。

https://www.jamp.gr.jp/.../01/leaflet24.01.09_2333001.pdf

2 日目

9:00～10:30

稼ぐ観光政策

～市町村における観光政策の落とし穴～

講師：篠原 靖 氏

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部准教授

○観光庁の 2024 年度予算案は前年度比 1.64 倍の約 503 億 1,800 万円となった。2023 年度の補正予算と合わせると約 1,200 億円になる。

《観光庁関係 予算概算要求概要》

<https://www.mlit.go.jp/page/content/001625464.pdf>

今までは人が来てもお金が落とせていなかった。稼ぐ観光が必要。地域にお金落ちると民間からアイデアが出てくる。

《事例：千葉県いすみ市大原漁港『港の朝市』》

<http://minato-asaichi.com/>

消費者は本物を求めている。

今までの観光は、いつでも、どこでも、どなたでものコンビニ型だった。これからの観光は、いまだけ、ここだけ、あなただけの寿司屋のカウンター型が求められる。体験・滞在・交流を通して『本物』を感じる。そこでしか感じられない、今だけ。私だけの旅を与えられるようにしなければならない。

やる気がある自治体にはどこへでも国費で行きます！と言っていた。

江南市がやる気になるのなら、江南市へも国費で支援に来てくださるそうだ。

10:45~12:15

自治体×アナウンサーで創る地方が主役の未来

講師：長崎 真友子 氏

株式会社 Cheering (チアリング) 代表取締役

地方創生女子アナ 47 は、地方創生のため、地方の魅力を、地元を密着取材してきたアナウンサーという視点で、様々な角度と切り口から創造と発信をする団体で、『地方から日本を元気に！』をコンセプトに事業を展開している。現在 110 名ほど在籍しているそうだ。47 都道府県に貢献したいことから 47 と名付けた。

今年は『地方に住みたい人を増やす』『地方が主役の未来を創る！！』ことに挑戦する。コラボしてくださる方を募集している。

《女子アナ 47》

<https://jana47.com/>

《女子アナ自治体/企業オールインワンパッケージ》

<https://www.jana47media.com/>

レポーターとしていろいろな自治体を訪れ、流行っているものなどの情報を報道している女子アナとのコラボ企画は面白いかもしれない。江南市に縁がある女子アナがいればなお良い。

■所感

今回はデジタル化とシティプロモーションがテーマであった。どちらも街の活性化として必要である。デジタル化は地方こそ取り組むべきである。江南市の様々な課題がデジタル化で解決できる可能性はある。また、市を豊かにするには観光客の誘致とそれに伴うシティプロモーションが必要である。どこの自治体でも行っているものではなく、江南市の独自性が問われる。江南市でできることはまだまだあると感じた。